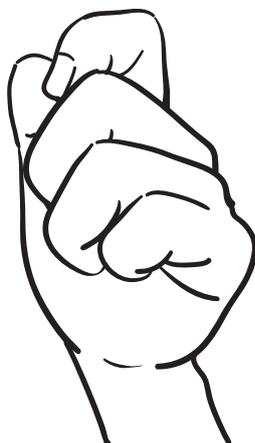
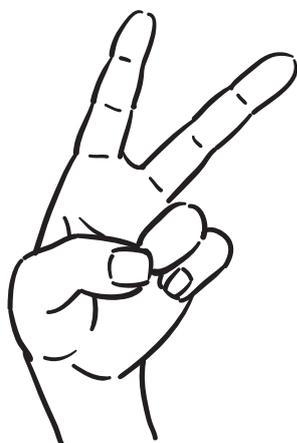


6  
月号

# ワークと ていしゅつかだい

みらいアート Tokyo 本科コース  
2年生



アートを通して、思考力・発想力を育む。

# もくじ

2年生6月号

トピック 人をかく

## 1 『さぐるう! 手の ひょうじょう』

ワーク1 絵を見よう……………p3

ワーク2 手にくわしくなろう……………p4-6

ワーク3 手をかこう……………p7

トピック もしや

## 2 『アーティストの 目になろう』

ワーク1 絵を見よう……………p9-10

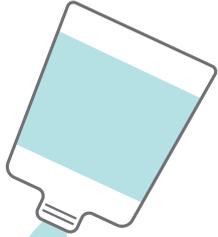
ワーク2 さっきの絵はどんな絵?……………p11-12

ていしゅつ  
かだい

『絵をまねしてかいてみよう』……………p14-16

こた  
答えの れい

……………p18-19



トピック1 人をかく

さぐろう！

手の ひょうじょう



# え 絵を 見よう

	はじめ	じ	ふん
がつ	にち	おわり	じ
			ふん

おうちの方へ 色々なポーズから、自由に場面や感情を想像します。このポーズをとるのはどんな時か、どんな気持ちか、実際にやってみながら考えてみていいですね。

## つかう どうぐ



いろいろな ポーズの 手が かかっているね。 どんな時に しそうな ポーズかな？ 場めんや 気もちを 自ゆうに 考えて 書いてみよう。

・書き方の れい…てつぼうを にぎっている時、 うれしい時 など





# 手に くわしくなろう

	はじめ	じ	ふん
がつ	にち	おわり	じ
			ふん

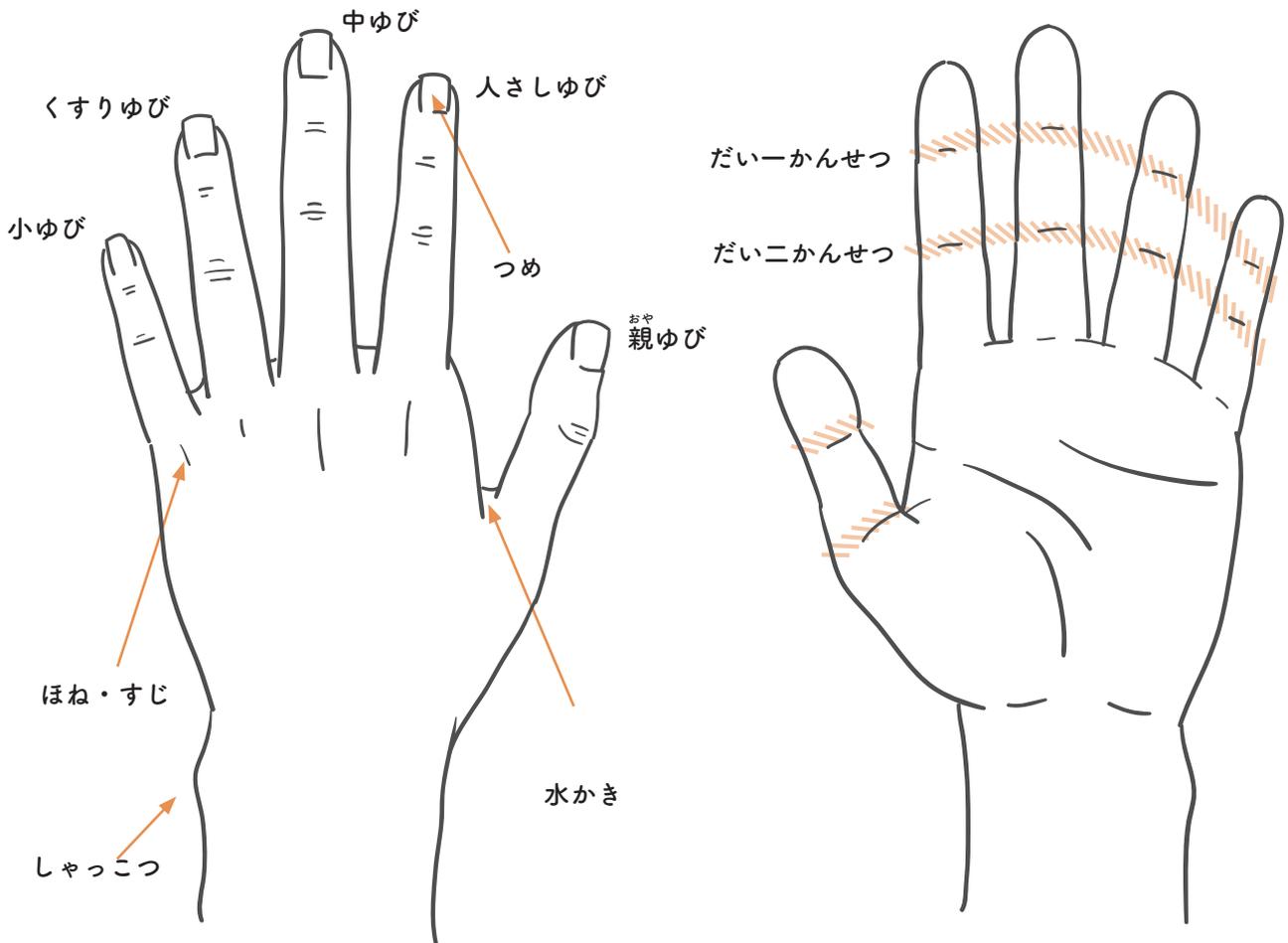
おうちの方へ 手の構造、様々なポーズについて学びます。テキストの説明と自分の手を見比べてもいいですね。自分ならではのポーズ集を考えても楽しいかもしれません。

人の <sup>え</sup>絵を <sup>とき</sup>かく時は 手も <sup>おお</sup>かくことが <sup>おほ</sup>多いね。手は いろいろな ポーズをとれるよ。 <sup>ば</sup>気もちや <sup>あ</sup>場めん <sup>かお</sup>に <sup>あ</sup>合った 手を <sup>かお</sup>かくと、 <sup>かお</sup>顔 <sup>いろ</sup>みたい <sup>いろ</sup>に、いろいろな <sup>いろ</sup>気もちを <sup>いろ</sup>あらわせるよ。手に <sup>いろ</sup>くわしくなったり、 <sup>いろ</sup>色んな 手を見てみよう。

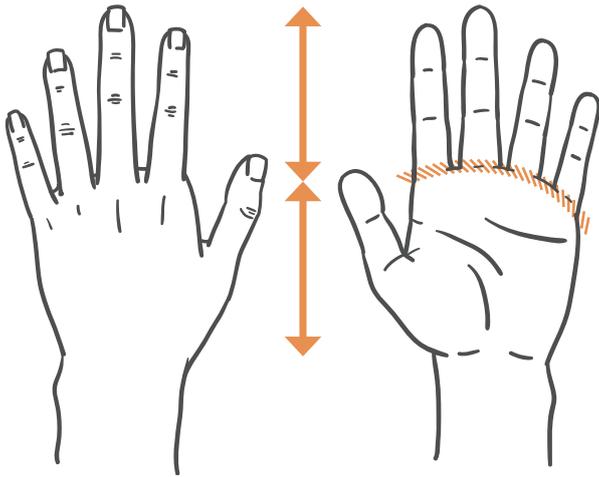
## 手の きほん

### パーツの <sup>なまえ</sup>名前

手の <sup>いろ</sup>ぶぶん <sup>いろ</sup>ぶぶん <sup>いろ</sup>に、 <sup>いろ</sup>色んな <sup>なまえ</sup>名前 <sup>いろ</sup>がついているよ。



まめちしき



中ゆびと 手のひらの たての <sup>なが</sup>長さは  
<sub>だいたい おな</sub>大体 同じくらいだよ。

ゆびの つけねは <sup>まる</sup>丸みがあるよ。  
小ゆびの つけねは 下がっているね。

※パーツの 大きさ <sup>なが</sup>長さは 人や ポーズに  
よって かわるよ。

ゆびの せの <sup>たか</sup>高さ ランキング

あなたの 手だと どうかな？

かんさつしてみよう！

- 1 い…中ゆび
- 2 い…人さしゆび・くすりゆび
- 3 い…小ゆび
- 4 い…<sup>おや</sup>親ゆび

つぎは…<sup>いろいろ</sup>色々な ポーズ

いろいろ  
色々な ポーズ

ば  
場  
え  
めんや 気もちによって いろいろな 手が かけるね。  
絵に 合いそうな ポーズを <sup>かんが</sup> 考えてみてね。

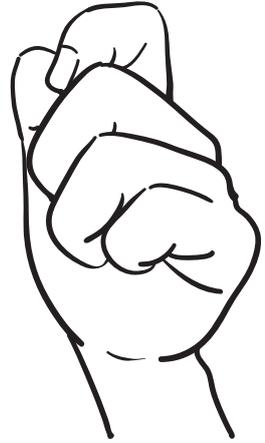
にぎった 手



ものを にぎる

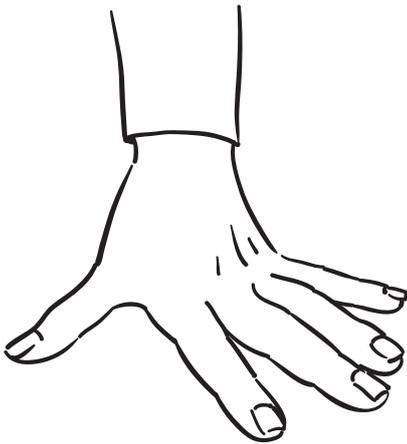


- ・おこる
- ・かばんを もつ



- ・<sup>かんが</sup>考える
- ・ノックを する

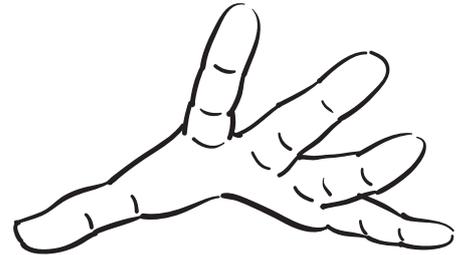
ひらいた 手



- ・びっくりする
- ・おしつける

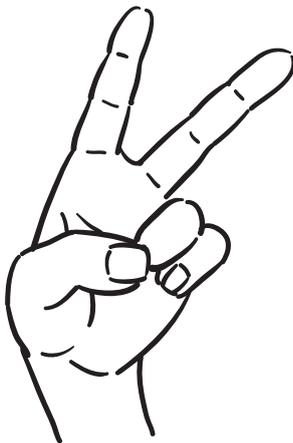


- ・<sup>ない</sup>あん内を する
- ・手を あげる



- ・おいかける
- ・きめポーズ

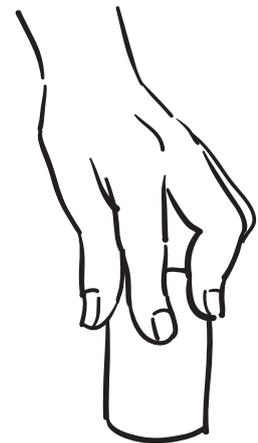
そのほかの 手



ピースサイン



<sup>なに</sup>何かを <sup>おも</sup>思いつく



かるく つまむ



# 手を かこう

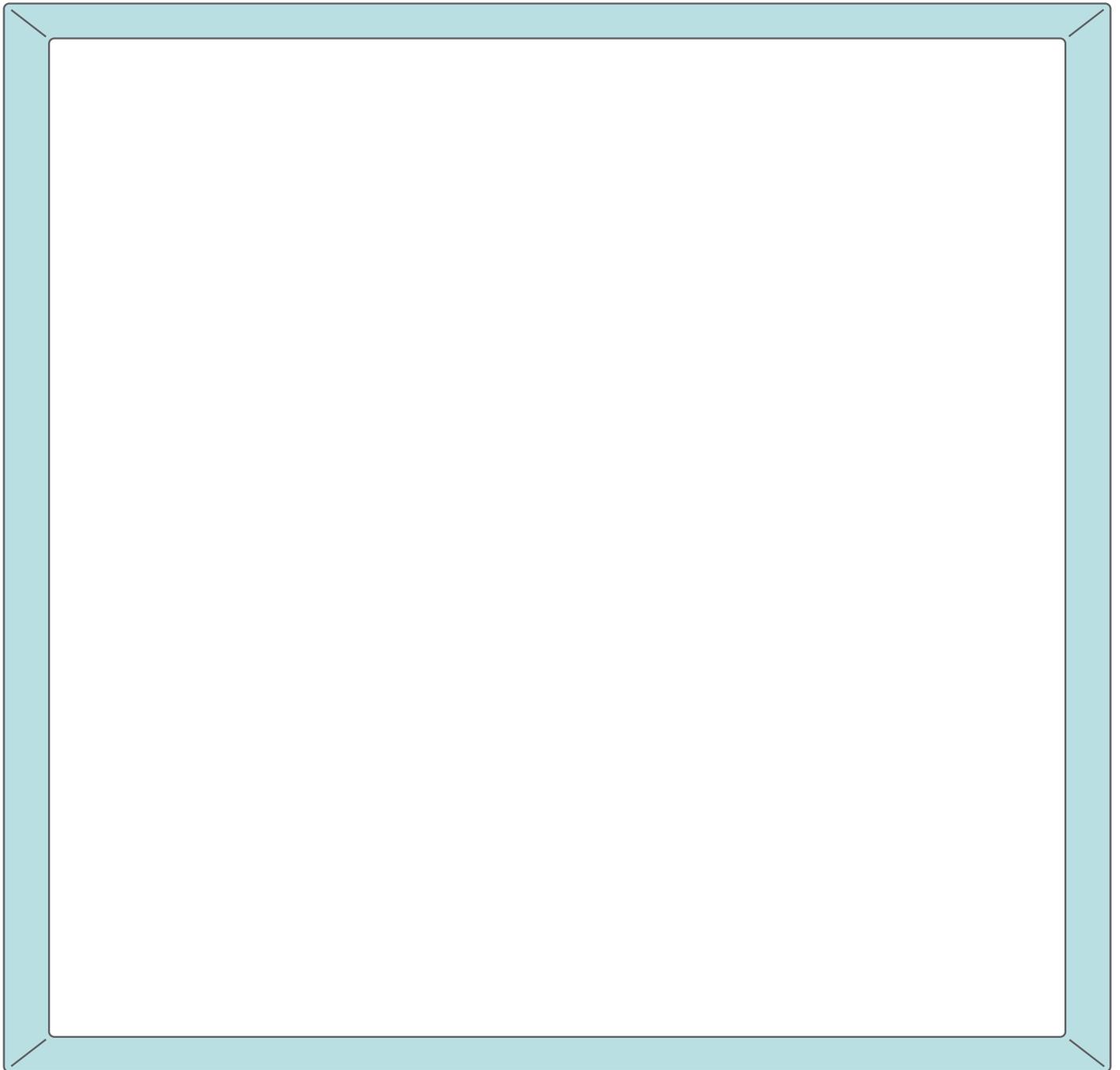
	はじめ	じ	ふん
がつ	にち	じ	ふん

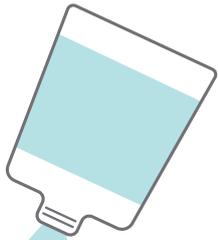
**おうちの方へ** 手を描きます。ワーク2ではリアルな表現の手の絵が多くありましたが、リアルに描かなくても大丈夫です。ポーズを自分なりに考えながら、楽しく描いてみましょう。

## つかう 道具



いろ色んな 手を 見たね。 じゆうに ポーズを <sup>かんが</sup> 考えて、手を かいてみよう。





トピック2 もしゃ

アーティストの  
目になろう



# え 絵を見よう

	はじめ	じ	ふん
	おわり	じ	ふん

おうちの方へ かかれていのは何の花か考えたり、すごいと思うところを探したりしてもいいですね。絵と一緒に観て、思ったことを話してみてもいいですね。

つかう どうぐ



下の <sup>え</sup>絵を見て、つぎの ページの しつもんについて <sup>かんが</sup>考えてみよう。



絵を見て気になったところはありますか？ 絵に丸をつけたり、ここにメモしてみよう。

丸をしたところは、どんなことが気になったのかな？ 自分の考えに近いものに丸をしよう。

- ・色が気になった
- ・形が気になった
- ・線のかき方が気になった
- ・かいてあるものが気になった
- ・そのた（ ）

もしこの絵があなたの絵だったら、どんなタイトルをつけるかな？ 自由に考えてみよう。



## さっきの <sup>え</sup>絵は、どんな <sup>え</sup>絵？

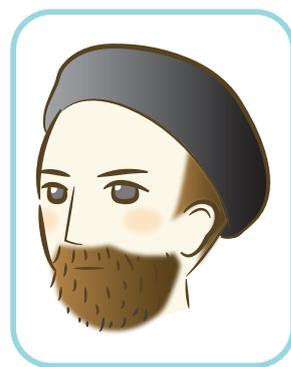
	はじめ	じ	ぶん
がつ	にち	じ	ぶん

**おうちの方へ** 作者と絵の解説を読みます。もっと気になったらアート系の絵本などを調べてみてもいいですね。観た時に感じたことを大切にしつつ学んでみましょう。

ワーク1の <sup>え</sup>絵を かいた人の <sup>え</sup>ことや、 <sup>え</sup>絵に ついて 学んでみよう。

かいた人は…

### オディロン・ルドン



1840年に フランスの ボルドーで 生まれ、 <sup>からだ</sup>体が <sup>よわ</sup>弱かったため、 <sup>か</sup>家ぞくとは べつの <sup>ばしょ</sup>ばしょで <sup>そだつ</sup>そだつよ。 のちに、 学校に <sup>い</sup>行くために <sup>か</sup>家ぞくのもとへ <sup>もど</sup>もどったよ。

ルドンは 人生で いろいろな 先生に <sup>で</sup>あ <sup>あ</sup>い <sup>さい</sup>会 <sup>う</sup>よ。 15才ごろ、 <sup>さ</sup>ゴ <sup>らん</sup>という <sup>けしき</sup>けしきを <sup>か</sup>かく <sup>が</sup>画 <sup>か</sup>家に、 <sup>え</sup>絵の <sup>か</sup>か <sup>か</sup>き <sup>か</sup>方 <sup>を</sup>を <sup>お</sup>お <sup>そ</sup>教 <sup>わ</sup>ったよ。 同じころに、 <sup>くら</sup>クラ <sup>わお</sup>ヴォーという <sup>しよくぶつ</sup>しよくぶつの <sup>し</sup>学 <sup>しゃ</sup>に <sup>で</sup>あ <sup>あ</sup>い <sup>さい</sup>会 <sup>っ</sup>たそう。 この人からは <sup>え</sup>絵を <sup>お</sup>お <sup>そ</sup>教 <sup>わ</sup>ったわけでは <sup>な</sup>ないんだ。 その人は 本を <sup>よ</sup>読む <sup>こ</sup>ことが <sup>お</sup>お <sup>お</sup>お <sup>お</sup>大 <sup>す</sup>す <sup>き</sup>きで、 ルドンも その人の <sup>え</sup>え <sup>い</sup>い <sup>き</sup>き <sup>ょう</sup>ょうで 本が <sup>す</sup>す <sup>き</sup>き <sup>に</sup>に <sup>な</sup>な <sup>っ</sup>たんだって。 24才ごろには、 <sup>ぶ</sup>ブ <sup>れ</sup>れ <sup>す</sup>す <sup>だ</sup>だ <sup>ん</sup>んという <sup>は</sup>は <sup>ん</sup>ん <sup>が</sup>が <sup>か</sup>か <sup>か</sup>画 <sup>か</sup>家 <sup>に</sup>に <sup>で</sup>あ <sup>あ</sup>い <sup>さい</sup>会 <sup>い</sup>、 <sup>は</sup>は <sup>ん</sup>ん <sup>が</sup>が <sup>え</sup>え <sup>の</sup>の <sup>つ</sup>つ <sup>く</sup>く <sup>か</sup>か <sup>た</sup>た <sup>な</sup>な <sup>ど</sup>ど <sup>を</sup>を <sup>ま</sup>ま <sup>な</sup>な <sup>ん</sup>ん <sup>だ</sup>だよ。

はじめは <sup>くろ</sup>黒 <sup>しよく</sup>1色で、 <sup>ふ</sup>ふ <sup>し</sup>し <sup>ぎ</sup>ぎ <sup>な</sup>な <sup>み</sup>み <sup>り</sup>り <sup>よく</sup>よく <sup>の</sup>の <sup>あ</sup>あ <sup>る</sup>る <sup>え</sup>絵 <sup>を</sup>を <sup>た</sup>た <sup>く</sup>く <sup>さ</sup>さん <sup>か</sup>か <sup>い</sup>い <sup>て</sup>て <sup>い</sup>い <sup>た</sup>た <sup>そ</sup>そう。 <sup>は</sup>は <sup>な</sup>な <sup>が</sup>が <sup>か</sup>か <sup>お</sup>お <sup>か</sup>か <sup>お</sup>お <sup>に</sup>に <sup>な</sup>な <sup>っ</sup>て <sup>い</sup>い <sup>た</sup>たり、 <sup>き</sup>き <sup>き</sup>き <sup>ゅう</sup>ゅう <sup>に</sup>に <sup>め</sup>め <sup>が</sup>が <sup>つ</sup>つ <sup>い</sup>い <sup>て</sup>て <sup>い</sup>い <sup>た</sup>たり。 そうした <sup>え</sup>絵 <sup>を</sup>を <sup>か</sup>か <sup>き</sup>き <sup>つ</sup>つ、 50だいごろからは、 <sup>いろ</sup>色 <sup>を</sup>を <sup>つ</sup>つ <sup>か</sup>か <sup>っ</sup>た <sup>カラ</sup>カラ <sup>フル</sup>フル <sup>な</sup>な <sup>え</sup>絵 <sup>も</sup>も <sup>か</sup>か <sup>く</sup>く <sup>よ</sup>よう <sup>に</sup>に <sup>な</sup>な <sup>っ</sup>たんだって。 <sup>いろ</sup>色 <sup>と</sup>と <sup>り</sup>り <sup>ど</sup>ど <sup>り</sup>りの <sup>は</sup>は <sup>な</sup>な <sup>や</sup>や、 <sup>か</sup>か <sup>み</sup>み <sup>さ</sup>さ <sup>ま</sup>ま <sup>の</sup>の <sup>お</sup>お <sup>は</sup>は <sup>な</sup>な <sup>し</sup>し <sup>を</sup>を <sup>も</sup>も <sup>と</sup>と <sup>に</sup>に <sup>し</sup>し <sup>た</sup>た <sup>え</sup>絵 <sup>な</sup>など、 <sup>いろ</sup>いろ <sup>んな</sup>んな <sup>え</sup>絵 <sup>を</sup>を <sup>か</sup>か <sup>い</sup>い <sup>て</sup>て <sup>い</sup>い <sup>た</sup>た <sup>よ</sup>よ。 そうして <sup>いろ</sup>いろ <sup>んな</sup>んな <sup>え</sup>絵 <sup>を</sup>を <sup>か</sup>か <sup>く</sup>く <sup>中</sup>中 <sup>で</sup>で、 <sup>ゆ</sup>ゆ <sup>め</sup>め <sup>の</sup>の <sup>よ</sup>よ <sup>う</sup>う <sup>な</sup>な <sup>ふ</sup>ふ <sup>し</sup>し <sup>ぎ</sup>ぎ <sup>な</sup>な <sup>ル</sup>ル <sup>ド</sup>ド <sup>ン</sup>ンの <sup>せ</sup>せ <sup>か</sup>か <sup>い</sup>い <sup>が</sup>が <sup>でき</sup>でき <sup>あ</sup>あ <sup>が</sup>が <sup>っ</sup>て <sup>い</sup>い <sup>っ</sup>た <sup>よ</sup>よ。 76才の <sup>時</sup>とき <sup>び</sup>び <sup>ょう</sup>ょう <sup>き</sup>き <sup>に</sup>に <sup>な</sup>なり、 フランスの <sup>パ</sup>パ <sup>リ</sup>リ <sup>に</sup>に <sup>あ</sup>あ <sup>る</sup>る <sup>い</sup>い <sup>え</sup>え <sup>で</sup>で <sup>い</sup>い <sup>き</sup>きを <sup>ひ</sup>ひ <sup>き</sup>き <sup>と</sup>と <sup>っ</sup>た <sup>よ</sup>よ。

1 学もんを けんきゅうする 人の こと。

2 はん画は 石や 木、 金ぞくなどに 絵を かき、 インクなどを 付けて、 紙に すりつけて できる 絵の こと。 はん画を 作って かつどうしている 人を はん画家と いうよ。

## さっきの <sup>え</sup>絵は <sup>え</sup>どんな <sup>え</sup>絵？

『花たば』 1900年～1905年ごろ

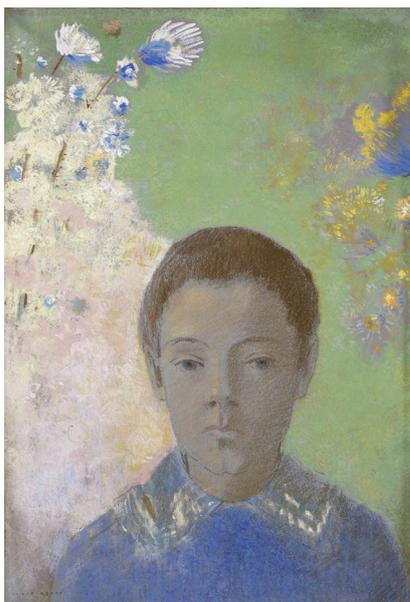
メトロポリタンびじゅつかん

青い花びんに <sup>いろ</sup>色んな しゅるいの 花や 草が  
生けられているね。 赤、白、みどりと、色とり  
どりの 草花が とても きれい。 花びんから あ  
ふれる 草花に しぜんの 力を かんじるよ。 こ  
の <sup>え</sup>絵は パステルという <sup>どう</sup>道ぐで かかっている  
よ。 <sup>ちからづよ</sup>力強くぬると こく はっきりと ぬれるよ。  
<sup>よわ</sup>弱く ぬれば、きりみたいに ふわっと かけるよ。



花の うしろは きりみたいに ふわっとした かんじで ぬられていて、<sup>ば</sup>場  
しょは どこだろうと 気になるね。 はいいろっぽい <sup>きいろ</sup>黄色の <sup>あかちゃ</sup>上に 赤茶や  
むらさきが ふわっと ぬられているよ。

## <sup>いろ</sup>色んな <sup>え</sup>絵を 見てみよう！



『アリのしょうぞう』 1898年ごろ

アート・インスティテュート・オブ・シカゴ

むすこを かいているよ。 うしろには 草花も。

2年生6月ごろ



『ふしぎな花』 1880年

アート・インスティテュート・オブ・シカゴ

花の ところが <sup>かお</sup>顔に なっているね。





# え 絵をまねしてかいてみよう

	はじめ	じ	ふん
おわり		じ	ふん
がつ	にち		

おうちの方へ 模写をする提出課題です。そっくりにかいても良いですし、気になる部分に注目して大きく描いても良いですね。

## つかう どうぐ



すきな <sup>どう</sup>道ぐで かいてね。  
画用紙に かいても いいよ。

p9の <sup>え</sup>絵を まねして かいてみよう。



ふくろう先生

・そっくりにかこうと しすぎなくて いいよ。

<sup>え</sup>絵を 見た ときに あなたが <sup>おも</sup>思ったことや 学んだことを 大切にしながら かいてみてね。

・気になったところを <sup>かんが</sup>考えてみよう、まねてみよう

ふしぎだなと <sup>おも</sup>思う <sup>かた</sup>かき方が あるかもしれないね。「なんで こういう <sup>かた</sup>かき方を したんだろう？」と <sup>かんが</sup>考えてみよう。まねをして かいてみると なにか <sup>わ</sup>分かるかもしれないね。

ていしゅつかだい 絵を まねして かいてみよう

2年生6月ごう

さくひんに ついて おしえてね！

★おうちの人に このページと、  
さくひんの しゃしんを とってもら  
おう。

★しめきり…6月30日

※コメント付けは、会員期間中に限り教  
材発行日から90日以内は受け付けてお  
ります。

あなたの なまえ  
名前

絵を 見て おも 思ったことは あるかな？

(または、絵を え かいて おも 思ったことは あるかな？)

くふうしたところ、がんばったところ

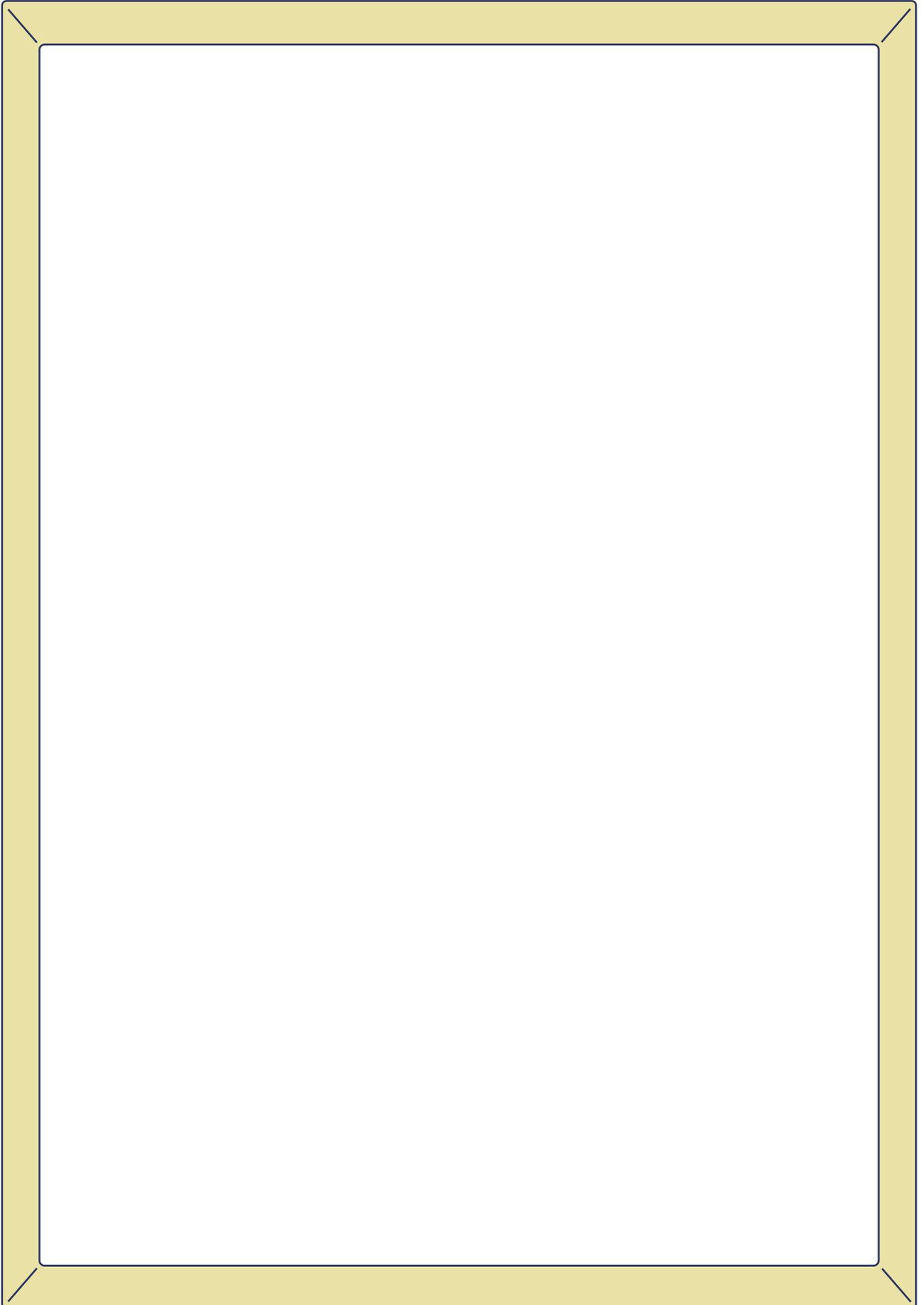
ほかにも おも 思ったことや か 書きたいことが あったら かいてみよう

おうちの方へ

- ・提出方法は「保護者様向け手引き」をご覧ください。
- ・別の紙に作品の情報を書いてご提出いただくことも可能です。用紙内に「2年生6月号」、各質問文、各回答をご記入ください。

2年生6月ごう

ていしゅつかだい 絵<sup>え</sup>を まねして かいてみよう



## こた 答への れい

見本がないワークのみ例をつけています。  
あくまで一例ですので、この通りでなくてもかまいません。  
お子さまならではの発想や工夫を大切にしてください。

トピック1ワーク 1…p3

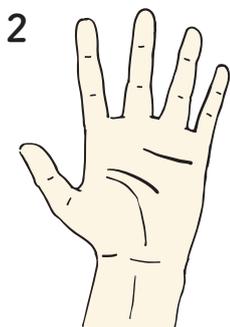
トピック2ワーク 1…p10

## トピック 1 ワーク 1…p3

れいなので このとおりで なくて いいよ。



- ・つりかわを にぎっている<sup>とき</sup>
  - ・ドアを ノックしている<sup>とき</sup>
  - ・おこっている<sup>とき</sup>
- など



- ・はっぴょうを するために 手を あげている<sup>とき</sup>
  - ・手を ふっている<sup>とき</sup>
  - ・よろこんでいる<sup>とき</sup>
- など



- ・アイデアを おも<sup>おも</sup> 思いついた<sup>とき</sup>
  - ・ゆびを さしている<sup>とき</sup>
  - ・数<sup>かず</sup>を かぞえている<sup>とき</sup>
- など

## トピック2ワーク1…p10

れいなので このとおりで なくて いいよ。

絵を見て 気になった ところはあるかな？ 絵に 丸をつけたり、ここに メモしてみよう。

絵に 自由に しるしをつけてみてね。 おうちの 方と、どこが 気になるか お話を していても いいね。

丸をした ところは、どんなことが 気になったのかな？ 自分の 考えに 近いものに 丸を しよう。

- ・色が 気になった
- ・形が 気になった
- ・線のかき方が 気になった
- ・かいてあるものが 気になった
- ・そのた( )

自分の 考えに 近いものに 丸をするか、そのたに 書こう。 いくつか 丸を しても いいよ。

もし この 絵が あなたの 絵だったら、どんな タイトルをつけるかな？ 自由に 考えてみよう。

自由に 思ったことを 書いてね。

- ・カラフルな お花たち
- ・青い 花びんと 花
- など